

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009函第40号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年7月10日 07時48分ごろ	
発生場所	北海道稚内港末広ふ頭東岸壁 稚内港北防波堤灯台から真方位203° 1,020m付近 (概位 北緯45°24.4′ 東経141°41.5′)	
事故等調査の経過	平成21年7月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報	
	海洋調査船 <small>パシフィック エクスプローラー</small> PACIFIC EXPLORER（バヌアツ共和国）、6,051トン 8212829（IMO番号）、PGS SHIPPING ISLE OF MAN LTD 船長（ノルウェー）、ノルウェー王国発給免許 一等航海士（ノルウェー）、ノルウェー王国発給免許	
死傷者等	なし	
損傷	本船：右舷中央部外板に長さ5.6m幅2.2mの破口、軽油200ℓ流出 岸壁：擦過痕	
事故等の経過	本船は、船長ほか41人が乗り組み、船長と一等航海士が在橋し、一等航海士が操船して稚内港へ向かった。 本船は、稚内港港口を通過後、風が岸壁に向く東北東の風約14m/sの状況下、末広ふ頭東岸壁（以下「東岸壁」という。）の北端まで約100mとなったとき、約19m/sの突風に遭遇した。 一等航海士は、突風により本船が東岸壁に向けて圧流されたため、船尾部が衝突するのを避けるために右舵をとったが、本船は、平成21年7月10日07時48分ごろ、東岸壁北端に右舷中央部外板が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 東北東、風力 7、視界 良好 海象：海上平穏 特記事項：宗谷北部に強風及び濃霧注意報が発表されていた。	
その他の事項	本船は、操船に影響を与えるような死角は無かった。 船舶運航会社の方針により、船長と一等航海士が、交互に入出港操船を担当していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、稚内港において、岸壁に向かう強風が吹く状況下、圧流を考慮せずに東岸壁に接近したものと考えられる。 本船は、突風により東岸壁に向けて圧流され、右舷中央部が東岸壁北端に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、岸壁に向かう強風が吹く状況において、稚内港の東岸壁に接近中、圧流を考慮せずに東岸壁に接近したため、突風により東岸	

	壁に向けて圧流され、右舷中央部が東岸壁北端に衝突したことにより発生したと考えられる。
--	--